

		はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
環境・体制整備	①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				
	② 職員の配置数は適切であるか	○				
	③事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		利用者の必要に応じて対応していきたい。	
業務改善	④業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		スタッフ同士共有していきたい。	
	⑤保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			真摯に意見を受け止め改善していきたい。	
	⑥この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	⑦第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		
	⑧職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			欠席している職員にも共有していきたい。	
	⑨アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			事業所内で必要に応じてアセスメントを行ってきたい。	
適切な支援の提供	⑩子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			その児童に合ったものを考えていきたい。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				
	⑫活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				
	⑬平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			休日と平日のプログラムは変えている。	
	⑭子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個々に必要に応じて計画に入れている。	
	⑮支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				
	⑯支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎回ではない（出勤時間が異なるため）	
	⑰日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
	⑱定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			モニタリングの内容に対しては共有している。	
	⑲ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○				
	関係機や保護者との連携	⑳障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
		㉑学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			保護者に協力頂き下校時間などは連絡いただいている。
		㉒医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	対象児がいません。
㉓就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				○	保護者から様子をうかがっている。	
㉔学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○				
㉕児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○				
㉖放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○				
㉗（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか加しているか		○				
㉘日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○			保護者との連絡は密に行っている。	
㉙保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○			必要に応じ保護者にアドバイスをを行っている。	
保護者への説明責任等		⑳運営規程規程、支援の内容、利用者負担等に支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
		㉑保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
		㉒父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を主催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会を開催できるように今後考えていきたい。
	㉓子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	㉔定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				
	㉕個人情報に十分注意しているか	○				
	㉖障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	㉗事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		
	非常時等の対応	㉘緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
		㉙非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			訓練は色々な曜日に行ってきたい。
㉚虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○				
㉛どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○				
㉜食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○		こちらから食事（おやつ）を提供していない	
㉝ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○				

実施時期 2025年1月6日～1月31日
 対象者 弊所利用者（利用児童の保護者）
 回答率 約92%
 回答結果 以下の通り

(グラフ内数値は項目内%)

		はい	どちらとも いえない	いいえ	今後の対応
環境・体制	①子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	73.9	26.1		のびのび過ごせるスペースが設けられるよう配慮したい。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	87.0	13.0		今後も人心数、専門性ともに充実を図る。
整備	③事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17.4	60.9	21.7	喫緊の課題ではないが、バリアフリー化は推進していきたい。
適切な支援	④子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	91.3	8.7		対象児童の抱える課題、保護者ニーズを踏まえ、計画を作成する。
の提供	⑤活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	82.6	17.4		職員相互のアイデア創出や児童の希望を取り入れ新しいプログラムを開発する。
	⑥放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8.7	60.9	30.4	今後は他所との交流も充実を検討したい。
保護者へ の説明等	⑦支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	95.7	4.3		支援内容、利用者負担の説明は今後も丁寧に実施する。
	⑧日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	91.3	8.7		保護者との連携に努め、課題の共有を図る。
	⑨保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	95.7	4.3		プッシュ型の情報提供などで助言を発信したい。
	⑩父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8.7	21.7	69.6	保護者様のご希望へ配慮しつつ、適時適切な交流機会を作りたい。
	⑪子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	78.3	21.7		苦情の受付は真摯に取り組んでいく。
	⑫子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	91.3	8.7		現在の取り組みをさらに充実していく。
	⑬定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	73.9	21.7	4.3	プッシュ型の情報提供方法を検討していく。
	⑭個人情報に十分注意しているか	95.7	4.3		今後も個人情報は適切に取り扱う。
非常時等 の対応	⑮緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	52.2	34.8	13.0	マニュアル等は整備済みであり、当方の活動を保護者に周知したい。
	⑯非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	47.8	39.1	13.0	訓練は実施しており、保護者に認知して頂けるよう努める。
満足度	⑰子どもは通所を楽しみにしているか	73.9	21.7	4.3	児童が通所を楽しみにしてもらえるよう努める。
	⑱事業所の支援に満足しているか	95.7	4.3		保護者満足、児童満足を得られる通所づくりに努める。

総括

- 弊所の支援活動については概ね肯定的な評価を頂いたものと受け止めている。
 日頃の活動に対しご理解を頂けている事に感謝しつつ、これに安住せず更に充実したサービスの提供に努めたい。
- 一方、肯定的な評価の低かった項目があり、これらについては職員全員で共有するとともに、今後の対策・実行案を策定し、活動を展開したい。具体的な対応項目は以下の通り。
 - ③バリアフリー化、⑮⑯緊急時対応の体制については必要な事項を問題なく整備しており、弊所の対応について保護者認知の向上をはかり、保護者の安心感づくりにつなげる。
 - ⑥他の施設との交流については、施設の候補検討から始める必要があり、先方意向も踏まえ、中長期的課題として扱う。
 - ⑩⑪⑬保護者間コミュニケーションについては、各保護者の意向も尊重し、参加有無による格差が起きぬよう配慮しつつ、活動できる方法の検討から始めたい。併せて保護者向け情報発信も充実させていく。
- 本アンケートに関して、寄せられたコメントが少なかった。コメントしやすい関係性、保護者とのより良い関係性作りも意識したい。
 なお寄せられたコメント（全て）は下記の通り。 ※文末数字は該当質問項目番号
 - ・もう少しスペースが広いとよいと思います。①
 - ・読解力について力を入れてもらうようお願いしたら承諾していただけてうれしかったです。⑤
 - ・育児に関する助言の支援はない⑨
 - ・個人的には保護者同士の交流はなくていい派です。⑩
 - ・ホームページはないが連絡帳でこまかくその日のようすを記入していただいている⑨
 - ・勉強に対し苦手意識があるため通所したくないときもある。⑰